

圧縮機をサブスク

A&Cサービス、来月



【横浜】A&Cサービス（横浜市都筑区、亀原信和社長）は8月1日から、コンプレッサー（圧縮機）を毎月定額の支払いで使えるサブスクリプションサービスを事業展開する。親会社のアネスタ

岩田製の給油式スクリーンコンプレッサーと無給油式（オイルフリー）クロココンプレッサーでそれぞれ出力22キロワット、37キロワットを設定した。省エネルギー性に優れるインバーター制御仕様も選べる。初年度

20～30件の契約を見込む。

契約期間

▲サブスクの対象となるアネスタ岩田製給油式スクリーンコンプレッサー

は5年。毎月定額の支払いにはA&Cサービスによるメンテナンス費用が含まれ期間中、コンプレッサー本体と圧縮空気タンクを利用した安定操作が担保される。満了時は返却または1年単位での契約延長になる。

出力22キロワットの給油式スクリーンコンプレッサー「LRS-220BD」（ドライヤー付き）の場合、消費税込みの月額料金は想定年間運転時間により3万6410円から、5年間の支払総額は218万4600円になる計算だ。「購入すると初期費用は200万円以内で収まるが、5年間で100万円近くになるメンテナンス費用を加味すると割安」（高

橋康昭A&Cサービス取締役）としている。同社はコンプレッサーや塗装機器の保守・修理が主業務。コンプレッサーは多くの工場で操業に欠かせない設備だが「メンテナンスが不十分で急なトラブルに見舞われるユーザーが多い」（同）ことから、サブスクリプションサービスを検討して事業化する。

また、コンプレッサー周辺機器や中古機も取り扱っており、適切なメンテナンスを続けて返却された機械を保証付きで販売するビジネスモデルを描く。